

アムンディ・ジャパン、『アムンディ・ダブルウォッチ』の拡販に注力

2016年3月14日、東京（代表取締役 ジュリアン・フォンテーヌ）：- フランス最大級のユニバーサルバンク、クレディ・アグリコル・グループ傘下のアムンディ・ジャパンは、「キャッシュから投資へ」を促す戦略的な商品として、2015年12月14日より静銀ティーエム証券株式会社を通じて『アムンディ・ダブルウォッチ』の販売を開始いたしました。この度、新たに株式会社千葉銀行、株式会社横浜銀行が販売に加わり、販売網のさらなる強化を実現したことで、日本における当ファンドの着実な成長を目指します。

『アムンディ・ダブルウォッチ』は、運用にフロアという考えを用いて、リスクをコントロールしながら安定的に資産を育てる商品です。マイナス金利や先行きの不透明感が強い投資環境において、預貯金から一歩踏み出して運用を考えるお客様や、退職金の運用に不安を感じるお客様など、「資産は増やしたい…でも大きく損をするのは怖い…」という投資家の不安へのソリューションとして対応可能な商品です。

本社フランスは、「プロテクト90シリーズ」というフロア付運用商品を1991年より設定・運用しております。欧州では主要企業の年金運用商品として採用されており、フランス内外の銀行チャンネルでファンドとしても販売されています。シリーズの1つ、「アムンディ・プロテクト90 ESR」*の純資産は、欧州がマイナス金利政策を先行導入した2014年6月以来、約60%増加、直近2013年、2014年、2015年と着実にプラスの運用成績を達成しております。確かな実績を積み上げ、投資に保守的といわれているフランス人の厚い支持を獲得してきた「プロテクト90シリーズ」を、今後、日本の個人投資家の皆様へ『アムンディ・ダブルウォッチ』として販売を促進してまいります。

アムンディ・ジャパンは本社フランスでの運用経験を活かし、日本における継続的なマーケティングや啓蒙活動を通じて、投資家のすそ野を広げると同時に、販売会社様へのサポートにも引き続き注力してまいります。

*「アムンディ・ダブルウォッチ」と同様にフロア水準のついた仕組みを持つファンドで、同じチームが運用しています。

（ご参考）『アムンディ・ダブルウォッチ』について

『アムンディ・ダブルウォッチ』は、「フロア水準（下値目安）」を設け、最適なタイミングで「資産配分」することで、「安心感」と「安定感」の2つの要素を追求（ウォッチ）するファンドです。

「フロア水準」とは、変動する金融市場で資産運用するにあたっての下値目安であり、日々の基準価額の最高値の90%となります。基準価額が最高値を更新するたびにフロア水準も上昇、一度上昇したフロア水準は下がることがない、「安心感」にプラスを与える仕組みです。フロア水準は2016年1月29日の設定日に9,000円で設定され、既に6回上昇し、現在、9,116円となっております。

「資産配分」とは、世界の株式、債券および短期金融資産などから、最適な資産を選び、最適なタイミングで配分することです。資産配分を機動的に変更することにより、基準価額の下落を抑え、「安定的」な収益の獲得を目指します。

取扱販売会社(2016年3月14日現在) (50音順)：

静銀ティーエム証券株式会社／株式会社千葉銀行(2016年3月7日より販売取扱い開始)／株式会社横浜銀行(2016年3月14日より販売取扱い開始)

アムンディについて

アムンディは約 1 兆ユーロの運用資産額^{※1}を有し、欧州 No.1^{※2}、世界トップ 10^{※2}に入る資産運用会社です。

世界 30 カ国以上の主要な投資地域の中心に拠点を持ち、全てのアセットクラスや主要通貨を網羅する広範囲な運用商品を提供しています。

アムンディは、世界中の 1 億人以上の個人投資家のお客様のニーズに応えるべく、貯蓄・投資手段の提供に力を注いでいます。また、機関投資家のお客様については、個別の要望やリスク許容度に応じた、革新的で良好なパフォーマンスを生み出すような商品を開発、提供しています。

アムンディはヨーロッパをリードする資産運用会社であり、以下の点で評価されています。

- 高い実績と透明性のある商品
- 長期的なアドバイザーサービスに基づく顧客との関係のクオリティの高さ
- 能力のある組織やチームとして顧客への貢献をお約束すること
- 持続可能な発展と社会的責任投資へのコミットメント

※1 2015 年 12 月末。

※2 出所：インベストメント・ペンション・ヨーロッパ誌による“資産運用会社トップ 400 社”調査（2015 年 6 月版（数値は 2014 年 12 月末現在））

アムンディ アセットマネジメントは、株式資本 596,262,615 ユーロを有するフランスにおける法人（Société Anonyme）形態の運用会社であり、フランス金融市場庁（AMF）の監督下にあります（登録番号：GP 04000036）。本社：90, boulevard Pasteur, 75015 Paris, France - 437 574 452 RCS Paris.

本件に関するお問合せ先：

萩原由香里

03-3593-9019

yukari.hagiwara@jp.amundi.com

投資リスク ■基準価額の変動要因

ファンドは、主として世界の株式、債券、不動産投資信託証券（関連する証券（上場投資信託証券等）を含みます）等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります）に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません**。ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割込むことが あります**。ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

ファンドにおける基準価額の主な変動要因は、「価格変動リスク」「金利変動リスク」「為替変動リスク」「資産等の選定・配分リスク」「流動性リスク」「信用リスク」ですが、これらに限定されるものではありません。また、一定水準（「フロア水準」）に関する留意点があります。詳細は投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご確認ください。

お申込みメモ

信託期間	平成33年9月6日までとします。（設定日：平成28年1月29日） 委託会社は、信託期間満了前に、信託期間の延長が受益者に有利であると認めるときは、受託会社と協議のうえ、信託期間を延長することができます。
決算日	年1回決算、原則として毎年9月5日です。休業日の場合は翌営業日とします。
収益分配	原則として毎決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。 販売会社によっては分配金の再投資が可能です。
購入・換金申込受付不可日	ユーロネクストの休業日、フランスの祝休日のいずれかに該当する場合、または12月24日である場合には受け付けません。
購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目から販売会社においてお支払いします。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除および益金不算入制度は適用されません。

手数料・費用等

投資者の皆さまに実質的にご負担いただく手数料等の概要は以下のとおりです。ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、 上限2.16%（税抜2.0%） として、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。詳しくは販売会社にお問合せください。
信託財産留保額	ありません。
投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用（信託報酬）	信託報酬の総額は、投資信託財産の純資産総額に対し 年率1.296%（税抜1.20%） を乗じて得た金額とします。 ◆上記の運用管理費用（信託報酬）は本書作成日現在のものです。
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用（監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。） ・投資信託財産に関する租税 等 ※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

委託会社・その他の関係法人
委託会社：アムンディ・ジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第350号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社：株式会社りそな銀行（再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社）
販売会社：静銀ティーエム証券株式会社、株式会社千葉銀行、株式会社横浜銀行（五十音順）

ファンドに関する照会先 **アムンディ・ジャパン株式会社** ホームページアドレス：<http://www.amundi.co.jp>
お客様サポートライン 0120-202-900（フリーダイヤル）受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

●当資料は、「アムンディ・ダブルウォッチ」の販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料です。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います（登録金融機関・第一種金融商品取引業者は販売の窓口となります）。●投資信託は値動きのある有価証券に投資するため、運用実績は市場環境等によって変動します。したがって、**投資元本および分配金が保証された商品ではありません**。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うことになります。●投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。●詳細については、最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧ください。**販売会社店頭で投資信託説明書（交付目論見書）をご用意してあります。**